

北海道大学国際本部留学生センター主催
大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター共催
第3回 多文化交流セミナー

政治言語の変遷 —大隈重信から安倍晋三まで—

講師：東 照二 氏 (立命館大学教授)

政治家のこぼれを取りあげ、大隈重信から安倍晋三までの歴史的変遷をたどってみたい。そして、そういったこぼれの変遷が今日の私たちの生活にとって、どういう意味をもたらすのかを考察することとする。その理論的支柱となるのは、「反知性主義」そして「言語的巻き込み手法」であり、この二つの理論の兼ね合い、バランスを考えることにする。

特に、安倍政権で、戦後70年の日本が大きな変化の時期を迎えている今日、政治家の話すこぼれを過渡的に分析し、その背後にあるメカニズムを理解することは、私たち一人一人の「政治参加」(投票、評価、運動)にとって、大きな意味があるといえる。日本はどこから来て、どこへ向かって行くのか、いわば「時空」(時間と空間、年代と場所)を超えて、政治言語を考察してみることにする。

コメンテーター：藤野 彰 氏 (東アジアメディア研究センター・教授)

記

と き： 2015年8月8日(土) 10:30~12:00

※ 講演の最後に、質疑応答の時間を設けます。

ところ： 北海道大学国際本部留学生センター2F 大講義室

参加費： 無 料

※ 事前のお申し込みは必要ありません。当日会場へ直接お越しください。

お問い合わせ先：鄭 惠先 (チョン ヘソン)

jung@oia.hokudai.ac.jp, TEL: 011-706-8011 (直通)

oooooooooooo 講師プロフィール oooooooooooooo

東 照二 (あずま しょうじ)

1956年、石川県生まれ。早稲田大学第一文学部英文科卒業。ユタ大学大学院にて言語学修士、テキサス大学オースチン校大学院にて言語学博士号を受ける。現在、立命館大学・ユタ大学言語文学部教授。専門は社会言語学。

著書に『歴代首相の言語学を診断する』(研究社、2006年)、『言語学者が政治家を丸裸にする』(文藝春秋、2007年)、『人を惹きつける「こぼれ戦略」』(研究社、2009年)、『オバマの言語感覚』(NHK出版、2009年)などがある。